

広報 えびな

世帯と人口
 (平成7年8月1日)
 世帯 40,151 (+10)
 人口 113,646人 (+16)
 男 58,641人 女 55,005人

編集・発行
 海老名市役所秘書広報課
 〒243-04
 神奈川県海老名市勝瀬175
 ☎ (0462) 31・2111

この広報は再生紙を使用しています。



長寿のよろこびを

9月は、敬老の日(15日)、老人保健福祉週間(15日～21日)など、高齢者を敬う月間です。市でも、9月1日から10月31日まで福祉強調月間として、敬老のつどいなどさまざまな行事が行われます。

「お年寄りを大切にしましょう」誰もが心の中で思っていることですが、なかなか行動にうつせない方もいるのではないのでしょうか? お年寄りに、何をしてあげようかと考えているのではなく、小さなことでもいいから、手を差し伸べて行動することが大切だと思います。(2・3面に関連記事)

お年寄りの笑顔を見ていると 嫌なことも忘れてしまいます

市内今泉中学校に通う、村田みずほさん(写真左 15歳 本泉在住)は、夏休みに中心荘で行われた、体験学習・ワークキャンプに2年続けて参加しました。

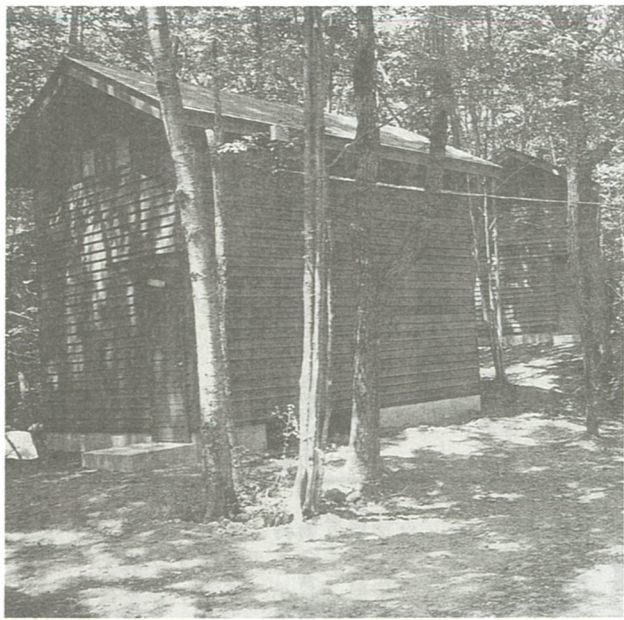
「参加した3日間があっという間に過ぎてしまうほど楽しかったです。おじいちゃん、おばあちゃんに顔を覚えられたり、声をかけられるのがすごくうれいんです」と答えるみずほさんは、中心荘のお年寄りたちに、自分から近寄って行き、必ず笑顔で話しかけます。お年寄りも、それまで緊張していた表情が見るうちに和らいでいきます。「おじいちゃん、おばあちゃんの笑顔を見るのが好きなんです。笑顔を見ていると、嫌なことがあっても忘れてしまいます」と嬉しそうに話すみずほさんは、将来福祉関係の仕事に就きたいといっています。「このワークキャンプで食事の介助、車椅子の扱い方法など、たくさんのお年寄りを助けてあげたいです」と多く使って、困っているお年寄りを助けてあげたいです」と頼もしい答えが返ってきました。

敬老の日にはみずほさんは、埼玉と大阪に住んでいる自分のおじいちゃん、おばあちゃんに、「おめでとう」のメッセージを書いた手作りのカードを送る予定です。



ワークキャンプ

市内の中学生を対象に、中心荘老人ホームに宿泊しながら、お年寄りの介護やクラブ活動などをいっしょに体験し、福祉について理解を深めようといわれているもので、今年で15回目。市社会福祉協議会が主催し24人が参加して、7月24日～26日の2泊3日の日程で行われました。



うっそうと生い茂る森の中に建つバンガロー

大自然が私



自分たちで作った料理は、外で食べると味も2倍おいしい!



夕食のカレーライスがとてもおいしかった。キャンプファイアーの時、少し眠かったけど楽しかった。今度は家族と一緒にいきたいです。

キャンプ生活を振り返って

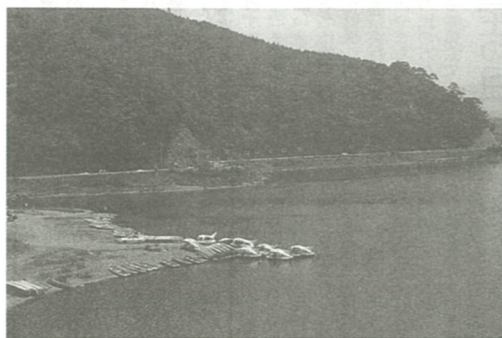
いろいろな事を学び、人とのふれあいを楽しめた。今まで地震の被害を受けた人に気を使ってたが、ここでは気を使うこともなかった。3日間ありがとうございました。



僕は、インリーダー研修会に参加して友達がいっぱいできた。パノラマ台まで登った時は、仲間が一番のりをした。今度もあったら、参加したい。

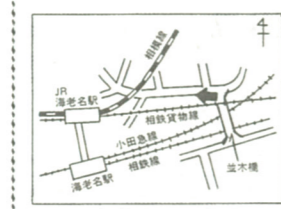


キャンプファイアーはみんなと一緒にできて、とてもおもしろかった。野外炊事で作ったカレーライスは少し残しちゃったけど、結構おいしかった。



神秘的湖・精進湖からの景色をのんびりと

本栖湖は水深138m、富士五湖の中で一番の深さです。透明度も抜群。スキューバダイビング、ウィンドサーフィン、ヨット、釣りなどが楽しめます。とろろ、5千円札の裏面の富士山は、本栖湖の北岸からのもの。お札をかざして、実際の風景と比べて見てもおもしろいかもしれません。



並木橋からの展望



この写真は、昭和43年ころ並木橋の相模鉄道貨物線の踏切から、上郷地区を撮影したものです。当時は全体に田んぼが広がっており、また工場や団地がなく、かなり広い範囲が見渡せ、有馬神社や厚木方面がよく見えました。道路の幅も狭く、自動車の通行量も今は比べものにならないくらい少なかったです。写真左側の踏切は、相模線の踏切で、現在は通っていません。自動車の行き来ができません。そして相模線も気動車が、1時間1本あるかないかのローカル線でした。(国分南の蘇原三九治さんにお話を伺いました)

大山が一望できた
このコーナーでは、市内に残る古い写真を紹介します。風景や風俗、人物などを撮った古い写真をお持ちの方は市史編さん室(内291)へご連絡を。

海老名タイムトンネル 写真が語る郷土の歴史 辺り一面に水田が...

私たちの先生

野外教育施設「富士ふれあいの森」は、山梨県西八代郡上九一色村に建設が進められていた、海老名市野外教育施設「富士ふれあいの森」が完成し、8月8日に開村式が行われました。同時に、同施設のオープンに先立って8月8日から10日の2泊3日で市子連インリーダー研修会も行われ、市内の小学校高学年生67人と招待された兵庫県神戸市の小学6年生19人が大自然の中で交流を深めました。今回は、この3日間の様子と同施設の概要を紹介します。

野外教育施設「富士ふれあいの森」は、山梨県西八代郡上九一色村に建設が進められていた、海老名市野外教育施設「富士ふれあいの森」が完成し、8月8日に開村式が行われました。同時に、同施設のオープンに先立って8月8日から10日の2泊3日で市子連インリーダー研修会も行われ、市内の小学校高学年生67人と招待された兵庫県神戸市の小学6年生19人が大自然の中で交流を深めました。今回は、この3日間の様子と同施設の概要を紹介します。

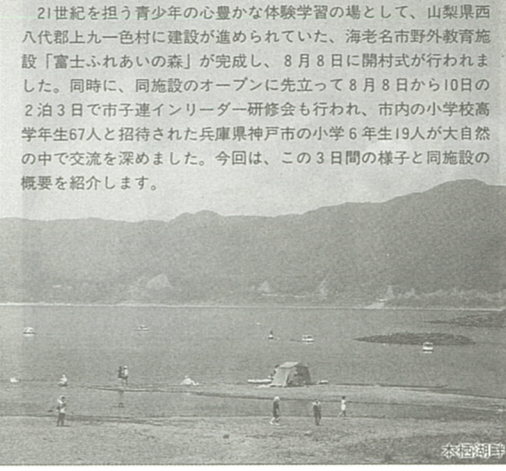
野外教育施設「富士ふれあいの森」は、山梨県西八代郡上九一色村に建設が進められていた、海老名市野外教育施設「富士ふれあいの森」が完成し、8月8日に開村式が行われました。同時に、同施設のオープンに先立って8月8日から10日の2泊3日で市子連インリーダー研修会も行われ、市内の小学校高学年生67人と招待された兵庫県神戸市の小学6年生19人が大自然の中で交流を深めました。今回は、この3日間の様子と同施設の概要を紹介します。

野外教育施設「富士ふれあいの森」は、山梨県西八代郡上九一色村に建設が進められていた、海老名市野外教育施設「富士ふれあいの森」が完成し、8月8日に開村式が行われました。同時に、同施設のオープンに先立って8月8日から10日の2泊3日で市子連インリーダー研修会も行われ、市内の小学校高学年生67人と招待された兵庫県神戸市の小学6年生19人が大自然の中で交流を深めました。今回は、この3日間の様子と同施設の概要を紹介します。

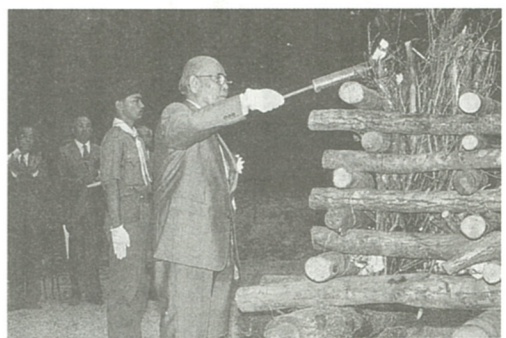
野外教育施設「富士ふれあいの森」は、山梨県西八代郡上九一色村に建設が進められていた、海老名市野外教育施設「富士ふれあいの森」が完成し、8月8日に開村式が行われました。同時に、同施設のオープンに先立って8月8日から10日の2泊3日で市子連インリーダー研修会も行われ、市内の小学校高学年生67人と招待された兵庫県神戸市の小学6年生19人が大自然の中で交流を深めました。今回は、この3日間の様子と同施設の概要を紹介します。

野外教育施設「富士ふれあいの森」は、山梨県西八代郡上九一色村に建設が進められていた、海老名市野外教育施設「富士ふれあいの森」が完成し、8月8日に開村式が行われました。同時に、同施設のオープンに先立って8月8日から10日の2泊3日で市子連インリーダー研修会も行われ、市内の小学校高学年生67人と招待された兵庫県神戸市の小学6年生19人が大自然の中で交流を深めました。今回は、この3日間の様子と同施設の概要を紹介します。

区分	単位	使用料金
を伴うバンガロー	市内に住所有者 5人用	1,500円
	市内に住所有者 10人用	3,000円
	市内に住所有者 15人用	4,500円
	その他 5人用	2,250円
を伴わないバンガロー	市内に住所有者 5人用	500円
	市内に住所有者 10人用	1,000円
	市内に住所有者 15人用	1,500円
	その他 5人用	750円
(テナント利用)	市内に住所有者 5人用	500円
	市内に住所有者 6人用	600円
	市内に住所有者 8人用	800円
	その他 5人用	750円
その他 6人用	900円	
その他 8人用	1,200円	



野外教育施設



8月8日の開村式で点火を行う左藤市長

施設紹介
「富士ふれあいの森」へは国道139号線を精進湖・本栖湖方面に進行し、「赤池」と表示されている信号機の先、すぐ左側に建てられている精進湖スノーシューの先、左折して表示に従って入場ください。(住所) 山梨県西八代郡上九一色町精進字瀬々波55番17(☎0555・87・2280)

問い合わせ
生涯学習課
☎31-2111
内686・687

利用案内
立利用方法
宿泊する場合は、原則として3泊4日を限度としています。利用開始日の正午から利用終了日の午前11時までとなっています。また、宿泊しない日での利用の場合は、午前10時から午後3時までです。

立利用できる人は
①市内の小・中学校の児童・生徒
②市民
③市内に在住・在学している他教育委員会が認めた者及び団体
市内の小・中学校の児童・生徒が教育の一環として利用する場合は使用日の1ヶ月前、その他教育委員会が認めた者及び団体は6ヶ月前から申し込みが出来ます。また、市民の利用は使用日の3ヶ月前から、その他市内に在住・在学している者は2ヶ月前から申し込みが出来ます。受け付けは生涯学習課青少年係で行います。先着申し込み順です。使用料と一緒に申し込んでください。

あきやま じゅんや
秋山 純哉くん 1歳1カ月



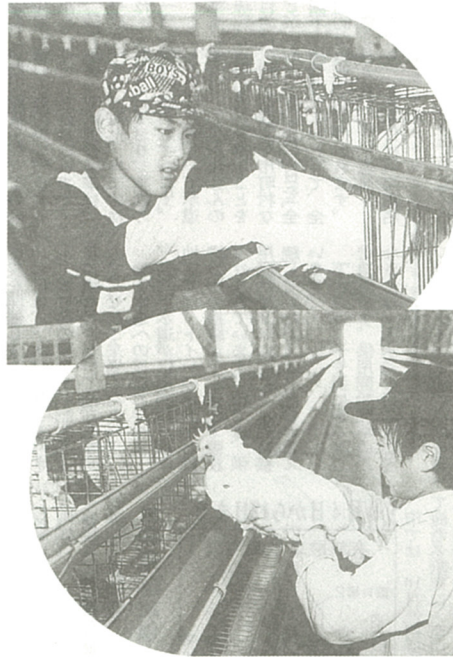
こんには、じゅんやです。食欲おう盛で、夏バテ知らずの僕は、いつも動き回っていたずらもするから、ママは目が離せないみたい。でも、大好きなお兄ちゃんと一緒に、暑さに負けないくらい元気な遊んでいます。
(杉久保 秋山誠・久美子さんの二男)

まんまるおぼやん

いしむろ まゆか
石室 真由佳ちゃん 1歳



はじめまして、まゆかです。近くに住んでいる、おじいちゃんおばあちゃんのお家に行く、いっぱい遊んでくれるから、とても楽しいの。みんな、わたしの笑顔にメロメロなんだから。
(東柏ヶ谷 石室利真・由樹さんの長女)



汗で学んだ農作業

フォトピックス

子供たちに農業の大切さや収穫の喜びを知ってもらうおうと毎年実施している宿泊研修が、今年も8月3日・4日に1泊2日で行われた。小学校6年生の20組40人が酪農・養鶏・施設園芸などの農家20軒で農作業を体験した。

3中学校関東大会出場

8月2日、今泉中学校の男子バレーボール部、有馬中学校の女子ソフトボール部、大谷中学校のテニス部と卓球部が関東大会出場を市長に報告した。関東大会では大谷中学校卓球部の西田梓さんが個人戦で5位に入賞し、全国大会への出場を果たした。



▲ みんなと一緒にだと楽しいね!

高齢者と子どもとの交流を深めるための「高齢者と子どものなかよし映画会」が7月31日から8月9日までの7日間、市内11会場で開催され、約350人のお年寄りとおどもたちが映画を通して楽しい一時を過ごした。

戦後50年を見る

「戦後50年、平和を考えるパネル展」が8月2日から14日まで、市民ギャラリーで開催された。写真を通して社会、娯楽、文化などの変遷や海老名市の移り変わりを紹介した。訪れた市民は戦後50年をなつかしくもまた、感慨ぶかけに見入っていた。



今月のプロフィール

外国人講師として来日



メレンカ・ブレнда・イレエネさん

「日本はとても安全な国。日本人はとても親切ですね。私の生まれ育ったところは、山あいの人口1万人の小さな町。海老名市は平坦で緑がいっぱいあり、交通の便がよいので、とても住みやすいですね。休日には自転車で乗って市内を見て回ります」と話すのは、メレンカ・ブレнда・イレエネさん(28歳)。

メレンカさんは、外国人講師として来日。有馬、海西、今泉の3中学校を担当し、9月から教壇に立つことになっている。

カナダと日本の文化一緒に学びましょう!

カナダの南西部、ブリテンシユコロンビア州トレイル市出身のメレンカさんは、3年前に津久井町で中学生に英語を教えていたことがあるので、日本語も日常会話程度は話せる。「さし、天ぷら、しゃぶしゃぶなど日本食も大好き、箸も上手に使えます。カラオケも好きで、たまたに行きます。画面に出てくる歌詞も読みたい読めます」とかなりの日本語、簡単な漢字だらけと読めるというメレンカさん。インタビューしている私の名札を見てさりと読んだので、「ビックリ!」。これからの抱負を聞くところ、生徒たちは、積極的に英語を学んでほしいですね。間違えたら、不安がらず何でもいいから話すこと。英会話に慣れることです。私も、日本のこと、海老名のこと、写真やスライドを見せながら、カナダの文化・自然や歴史など知ってもらいたいですね。目を輝かしながら話すメレンカさん。授業以外でも、バスケットボールやバレーボールなど部活動もやりたいと、生徒たちとの、ふれあいも大切にしている。「海老名で、たくさんの方とつながりたい。生徒たちと会話をとても楽しんでいます。期待に胸をふくらませてメレンカさんと生徒たちの交流、あつという間に深まることだろう。」